

10. キャンプ生活

(1) レンタカー (秋田)

①予約

広大なアメリカの国立公園の大自然を満喫するにはレンタカーは絶対条件である。

レンタカー会社の選定にあたり、先ず日本に代理店があり、訪問先のジャクソン空港に営業所があるAVIS レンタカーを選定し、早めに予約手続き（3月4日）を実施する。予約はウェブサイトからも可能だが、経験のない海外での運転なので、もろもろ確認したいことも有り代理店にて予約手続きをする。

- * 参加人員と現地での行動から2台レンタルする。
- * 料金の支払は現地で払うより日本にて円建てで済ませた⇒簡単明瞭である
- * レンタカーは荷物等を考慮して1台はフルサイズ（クラウン級）の車とインターミディエイト（中型）の2台をレンタル。
- * 自動車保険は強制・任意保険と可能な全ての保険に加入。
- * 追加ドライバー⇒アメリカでは契約者以外の人が運転すると保険が適用外となる。
- * 燃料先払い⇒返済時に満タンにする必要がない。
- * 税金⇒レンタル料や任意保険、に対し国税・州税・消費税がかかる。
- * 空港使用税・施設使用税⇒空港でレンタルするとかかる税金。
- * 走行距離無制限

以上の条件項目が網羅された円建てウルトラパックでレンタル契約する。

②日本のレンタカーとの相違

- * 追加ドライバーは有料、登録者以外の運転は保険対象外。
- * 未舗装道路は保険対象外である。
- * 強制保険は州により補償額が異なり、また、ない州もある。

③現地カウンターでの手続き

空港にあるカウンターで、レンタカーのE-Ticketと運転免許証（国際・日本の免許証）・クレジットカード・パスポートを提出し手続きを行う、返却日時と車種がシボレー・追加ドライバーの確認手続きの説明後契約書に署名する。

キーを受け取り指定された駐車場に向かう。日本のレンタカー会社と違い案内が無く自分でパーキング場所を探す。指定された駐車場にてキーにて確認（ハザードランプ点滅）、指定されたレンタカーはナントビックリ「 Mustang」。契約書にはサイン済みだし、こんな時しか「 Mustang」は運転できないと思い乗り込む。

運転席に座り操作確認、左ハンドルは問題なし、大きな違いはウインカーとワイパーが日本車と違い左右反対側に付いているので注意が必要だ、まずは駐車場内を中道応援のもと試運転、慣れたところで

いよいよ宿泊先のモーテルに向かう、アメリカでの初めてのドライブに挑戦、右側通行を意識しながら慎重に！慎重に、20分位の運転だが非常に疲れた。

翌日、2台目を借りるため空港のカウンターに行き手続き、昨日のこともあり車種の選定は写真により慎重に選ぶ、荷物の量から日本で契約した車より大型の「トヨタ・4ランナーSR5」に予約変更する、アップ料は+396.59\$/13日間と結構割高である。レンタカーは昨日の「ムスタング」も同じだが日本のレンタカーと違い汚い（掃除がされていない）アメリカ人はあまりこだわらないのか？

④運転において留意したこと

- * 分かりにくい標識とルート確認のため予めナビゲーターを決めておく（秋田車は古林・中道車は齊藤幸子にお願いする）
- * 右側通行は右折時、左折時に間違うので、同乗者にも声を出して確認してもらう。
- * 右折・左折時にウインカーとワイパーと良く間違え、雨も降ってないのにワイパーを動かすこと数知れず。
- * GSでの給油はセルフサービス、売店で金額を指定し、操作方法が解らないので店員にお願いする。

⑤返却

- * 返却は営業所にカギと契約書類を提出する、ガソリンは満タンかとかアップ料金の精算金等を確認し清算書をくれる。追加料金が無いことだけを確認。
車の返却時の確認はない（キズや外傷の確認もしなし）

⑥レンタル料金

ムスタングのレンタル料6月20日～7月3日で67,600円

トヨタ・4ランナーのレンタル料6月21日～7月3日で72,800円+396.59\$（アップグレード分）



